

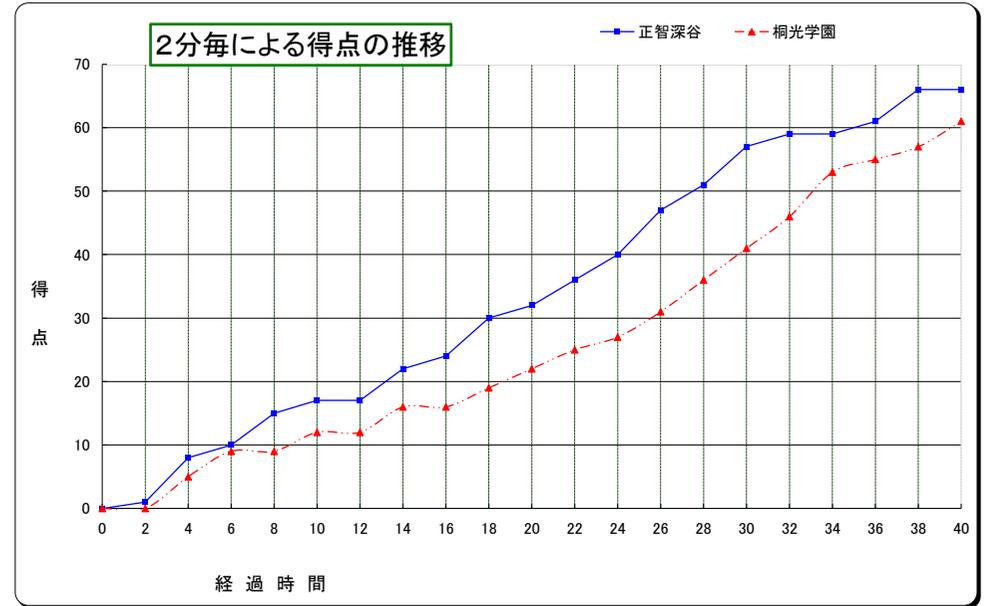
平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月5日(日)
深谷ビッグタートル
Aブロック準決勝

チームA			チームB
正智深谷 (埼玉)	66	{ 17 1st 12 15 2nd 10 25 3rd 19 9 4th 20 }	61 桐光学園 (神奈川)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	山口 颯斗	27	2	6	10	19	1	3	1	5	13	2	2	2	7
5	中島 修平	3	1	2	0	4	0	2	1	1	0	4	2	0	4
6	角田 憲信	4	0	0	2	4	0	1	0	2	1	0	0	0	1
7	増田 英寿	10	0	0	5	18	0	0	3	3	4	2	1	0	2
8	山口 大成	11	1	4	3	9	2	2	1	1	2	1	3	0	0
9	常田 耕平	3	1	3	0	1	0	0	4	0	2	1	0	0	1
10	中村 吏	0													
11	野元 啓太郎	4	0	0	2	3	0	0	2	0	0	0	1	0	1
12	川口 颯太	4	0	0	2	7	0	0	1	1	5	2	3	0	4
13	田中 翔真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	阿久津 瞬	0													
15	渡邊 圭吾	0													
16	國分 大雅	0													
17	早川 竜生	0													
18	勝山 大輝	0													
コーチ	成 田 靖									2	16				
		66	5	15	24	65	3	8	13	15	43	12	12	2	20
		確率	33.3%		36.9%		37.5%			計 58					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	田代 幹	12	0	3	6	14	0	0	2	3	4	2	3	1	3
5	新田 嵐	5	0	2	2	6	1	1	2	0	5	1	5	0	6
6	東山 勝彦	13	3	9	1	2	2	2	0	2	3	1	1	0	3
7	植松 義也	12	0	0	6	19	0	0	3	4	6	4	0	3	2
8	三島 大河	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	3
9	前原 碧生	2	0	0	1	3	0	0	0	4	1	0	0	0	2
10	神崎 颯大	3	0	5	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	1
11	上田 徳貴	4	0	0	1	3	2	2	0	0	1	0	0	0	0
12	長谷川 解	0													
13	小針 幸也	0													
14	堀口 大飛	0													
15	伊藤 航大	0													
16	コラン 優生	0													
17	宮本 一樹	6	2	7	0	5	0	0	3	2	8	0	2	0	0
18	小林 良	4	1	3	0	2	1	2	0	1	0	0	1	0	2
コーチ	高 橋 正 幸									4	9				
		61	6	30	17	55	9	10	11	20	39	10	12	4	22
		確率	20.0%		30.9%		90.0%			計 59					



戦評

豊富なタレントを揃え、昨日の激戦を制して勝ち上がってきた桐光学園と、地元埼玉の大声援を背に、激しいディフェンスからの速攻を得意とし、鍛えられたバスケットで初の頂点を狙う正智深谷の対戦となった準決勝。

第1P 両者ともにハーフコートマンツーマンでゲームスタート。序盤、両チームともに動きが硬くシュートが決まらない。開始2分、正智深谷#4のフリースロー、桐光学園#4のドライブインシュートでゲームが動き始める。正智深谷は#4を中心に#5、#7、#8が得点をあげる。桐光学園は正智のプレッシャーに苦しみながらも#17の2本の3pなどで食らいついていく。13対9、正智深谷の4点リードで1P終了。

第2P 桐光学園は昨日同様にフルメンバーチェンジでのぞむ。これが功を奏し、#6のフリースロー、#11の2pなどで19対16の3点差に迫るが、その後、正智深谷のプレッシャーディフェンスの前にタフショットを強いられる。その隙を見逃さず、正智深谷はディフェンスリバウンドから早い展開に持ち込み連続得点をあげ、リードを広げる。32対22、正智深谷の10点リードで前半終了。

第3P 桐光学園はスタートに戻す。正智深谷は#4のドライブイン、パスカットからの#7のレイアップシュートで引き離しにかかるが、桐光学園も#6の3本の3pなどで食い下がる。桐光学園#7の2本のブロックショットがチームの志気を高めるも、正智深谷の勢いは止まらず、16点差で最終ペリオドへ。

第4P 正智深谷#4のリバウンドシュートで先制し点差を18点とするが、ここから桐光学園の猛攻が始まる。#6の3pを皮切りに立て続けに得点をかさね、残り6分40秒、6点差まで詰め寄る。これまでの疲れからか、動きに精彩を欠く正智深谷は、タイムアウトを駆使しながら何とかボールをコントロールし、最後は5点差で辛くも逃げ切った。

両チームの健闘を称えるとともに、地元開催での正智深谷の初優勝を期待したい。

記録者: 中山田 泰隆